

(別添 3)

## 校務 DX 計画

校務支援システムを導入し、校務管理等のデジタル化を推進し、教職員の資質、指導力の向上を図っている。

G I G A スクール構想の下での校務の D X 化チェックリストにおいて、いまだに FAX の連絡があることが課題としてあげられる。

F A X の過度な利用、不必要な押印はクラウド環境を活用した校務 D X を阻害するものと考えられるため、今後は学校外などとの連絡や通知についても、メールや校務支援システム等を利用して行い校務 D X を推進する。

学校事務・成績処理等の I C T 活用については、現在取り組んでおり、教職員の職務環境の整備を行っている。

クラウドサービスの活用により、各種調査の回答や会議資料等におけるペーパーレス化を推進するとともに、手入力作業の削減による教員の負担軽減に努める。

校務支援システムについては、高知県内で統一した校務支援システムを導入していることから、今後も高知県内の自治体と足並みをそろえ、次世代の校務支援システムの検討及び導入を進める。